

高瀬舟を読んで問いを立てた二回目の対話。問いは「知人が自ら死を選ぶとしたら自分はどうするべきか」。アルファベットのA、B、Cは前回と同じ人物（Cは対話には参加していないが言及されている）。

A：今日の問いも昨日と同じで、知人が自ら死を選ぶとしたら自分はどうするべきかっていう問いなんですけど、昨日がえーっと、昨日はC君が言ってた、生きる目的みたいな。生きる目的みたいなのがあれば、先生とC君が生きる目的があつたら、あるから生きるとか、でも今生きる目的あるかって聞かれたら、ちょっと分かんないなみたいな。そういう話。自分で思い出してもらったらいいかなって思うんですけど。そういうのとかがあつて終わったと思うんですけど。それ以外でもいいけど、なんか意見ある人いませんか。

B：私は昨日の話とかを聞いてても、なるほどなって思ったのが一番初めにCが言ってたような話で、やっぱり知人が自ら死を選ぶとしたらっていう、その選ぶっていうのは死にたいですっていう相談じゃなくて、死にますっていう話なわけだから、それでどうすべきかってなったら止めるのも割と酷やし、で、なんかあの、授業始まる導入の時に読んだ、新聞の記事だって、家族が側で見守って、で、薬を投与して死んだみたいな話もあつたし、喜助の弟の場合だって死にたいですって言われて、それを止めようとしたわけじゃなくって、その自ら首に剃刀を刺して、自ら死にますっていう意思表示がされてるわけだから、それやったら喜助もそうだし、新聞に書いてあつた家族もそうだし、同じように受け入れるしかないのかなって思います。

D：その、自ら死を選ぶっていうのは、その喜助とかの場合だったら、喜助が弟の、死にかけてるのを最後のとどめじゃないけど、ほんとにもう死なせてあげるっていうそのまんまの意味。で、もし私自殺すんねんみたいなかんじで、こっちは別に何をしてくれとか頼まれてるわけじゃないけど、その人が死ぬって言われたときに、なんかまあ状況が違うかなって思つて。この教科書をさっきちょっと読んでたんですけど、なんかすごい弟がお兄さんに敵の目を見る、敵を見るような目で恨めしそうに見ていたって書いてて、そうする状況になつて、助け、殺さざるを得ないっていう状況と、私は死にますって宣言、死を選ぶっていう選択を突きつけられたときに何か自分の心境っていうのは違うのかなって。私もよく分かんないんですけど、（聞き取れない）。

E：僕はいくら知人でも自分とは違う、いわゆる他人だから。他人は他人、自分は自分で、自分で決めたら良いと思つてるから死にたいですって言われたら勝手に死ねばつて思います。っていうか僕らがいくら仲良い人でも、口出しすることはできないと思う。

F：えっと、もし、私もほんとに自分でよく分かってないんですけど。死にますって宣言されたら、まだ、ちょっと不謹慎だけど、まだ死にますって言われずに死なれるよりはましだなっていう風にいま思つて。知人から聞いた話、知人の実話なんですけど。仮にA君とB君としたときに、A君から聞いた話なんですけど。単刀直入に言うと、B君が自殺したんですよ。で、そのときに、その先週くらいにA君、B君と会つて。すごい、明るく振る舞つてたらしくて、B君が。で、なんかその自殺した後に、すごいそのA君、自分を責めたんですよ。その、気づけなかったことに対してもだし、自分を責めてほんとにすごい責めまくつたらしくて

いうのを聞いたのと、今回の問いを思っ。言われずに死なれるよりかは言ってくれて死なれるほうが、ちょっとおかしんですけど。まだ、ましだと思っ。もし、死ぬっていうことを宣言してくれたら、その言われた人にとっても自分がどうするべきかって、その瞬間に少しは考えることができるし、その人にとっても、そのなんて言うん。その人にとって、考える時間だったりとか、これからどうしたらいいのかっていうのを、その急に死なれたら、もうわけわかんなくなるじゃないですか、正直。その、まだ宣言してくれるほうが、なんて言うんやろなあ。ましなのかなっていう風には思います。

G：私もいまのFさんの話と、昨日だれかが言っ。たと思っ。なんですけど。なんか、えっ。誰かが言っ。たと思っ。なんですけど。ほんとに病んでたり、苦しくて自殺したいって思っ。てる人は、大事な人に迷惑かけたくないって思っ。うから、私だったら思っ。うんで。ほんとに死にたいと思っ。てる人は言わないと思っ。うし、でも私もFさんみたいに、ほんとに死にたいと思っ。てるって言っ。てくれたほうが、言っ。てくれたほうがいいとは思わないんですけど、言っ。てくれたほうが死なれてから、なんで死んだのか分からない状態で亡くなって、遺された人がかわいそうだと思っ。うし、遺された人たちは自分たちのことを責めると思っ。うんで。私も死にたいって思っ。てるって言っ。られるほうが、急にいなくなれるよりかはいいと思っ。います。

H：話難しくて、まだ全然まとまっ。てないんですけど。知人が自ら死を選ぶっていうことは前の議論でも言っ。てたと思っ。うんですけど。選ぶっていうことだから死にたいなとかじゃなくて、死にますっていう報告だと思っ。うから、もし前の二人が言っ。たみたいに言わない人もいたとして、でも言う人がそういう周りに言う人だったら意志は固いと思っ。って周りがどうこう言っ。ても変えれないと思っ。うから、どうすべきかっていうのはまだ分からない。

I：死にたいって言っ。たら、他の人が。その死にたいって言っ。た人は考えた末のことなんだから、その人の好きなようにさせる、言い方悪いんですけど。その死にたいっていうのは、その死んでも、その人の、そのそうしたいんだったら、その人にそうさせてあげるのがいいんじゃないかな。

中川：人は口の動きとか体で話すんですよ。実は姿を撮っ。ておかないとめっちゃめっちゃ文字に起こしにくいんです。これはやらないと分かんないと思っ。います。口を追っ。っても全然違います。映像あるのとなないので。これ不思議ですけどね。目の動きとか、色んなことがあるので、今ちょっと話を聞いてて色んな事を考えていたんですが、わりと焦点は、いま話になっ。ているのは自分が、自分と死ぬ人がいて、でまあ高瀬舟はまさにそういう話なので、その人との関わりっていう話に来てるんじゃないかなってかんじはしてまっ。す。昨日まあ少し、Cの反論もありましたが、それが正確に再現できるかどうかは分かんないですが、僕は喜助間違っ。てんちゃうかなって思っ。たって話しまっ。したよね。実は今でもそうじゃないかなって思っ。てて。喜助間違っ。てんちゃうかと、実はそんなことを思っ。ている。それは昨日もちょっとお話ししまっ。したが選択肢としてはまだ苦しんでいる人を、思い出してきまっ。す。苦しんでいる人を見て、自分が手を下すっていう選択肢じゃなくて、そうじゃなくて頼まれても殺さないっていう選択肢があっ。たからだ、っていう話をしたはずでまっ。す。それに対するCの反論がこういう反

論やったと思います。苦しませておく状態で生かすという状態を望んでいることすら、自分の欲望である。だから、それは他人に干渉できないから、今実は何人か話してもらった人でそういう人いましたね。Eはそれに近いと思いますけど。干渉できないんだから間違ってるなんか言えない。まあ、確かにそれも言えそうだと、思いつつ、でも、前の話でけっこう印象に残っているのは死のうとしている人がいて、その人がいなくなったら悲しいっていうかんじがありましたよね。これは欲望なのかどうか、考えてみたいなっていう気もちょっとしています。わりと僕は自殺に近い場所にいたので、っていうと変な言い方になりますが。大学院とかでいくとですね、直接知らない人ですが実際に自殺した人はけっこういました。けっこういましたし、皆さん、想像できないと思いますけど、学者として生きるとかそういう選択をとるっていうのはやってみないと分からないという話なんです。自分の経験でいくと、その人とは知らないんですが、哲学科の人で、うちの先輩ですね。一年上の先輩と付き合いってたかなんかやったと思います。付き合いってたんだけど、断りなしに亡くなられたっていうのが一件ありました。それはけっこう、研究科内では話題には上りましたが、それとは違う話をしますね。もう一つ、僕がそんなこんなで思い出すのは、今でもこれをどう捉えたらいいのか分からない話なんですけども、僕は哲学カフェというイベントをやってたんですね。これは、こんなかんじあるじゃないですか。問いを立てて話すっていうことを一般の人とやるっていうイベントがあるんですが、それをだいたい長い間やってました。その中でですね、一度自殺についての回があったんですね。自殺は許されるか、やったかな。それは、関西大学の同じような哲学向けのサークルをやっている人がいて、その人との合体企画でやった企画でした。ということで、関大、関学の学生がけっこう来たところで話したんですが、その中で一人すごく印象的な発言をした人がいたんですね。それは、どういう発言やったかという、正確には覚えてないんですが、理解されないのであれば、たぶんそんな意味やったと思います。自分が理解されていないのであれば、あるいは自分が自殺を選ぶとしたとして、その意味すら理解されてないのであれば、自殺はしてもいいんじゃないかって言ってた人がいたんですね。で、後で聞いた話です。これは。そのイベントがあった、二ヶ月後に聞いたんですが、その方は自殺されたと聞きました。で、えっと、学生でした。たぶん、関学の学生やったと思います。その後、どうなったかというんですね。その相方のほうの関大のほうのサークルの人が実は関大の中でそのイベントをやりたいからっていう話をしてたんですね。でも、その人は自殺した人の友だちだったわけです。で、もうこの企画はやめようということをやめたという、やめられたというのがありました。僕はけっこう関係が間接的だったので、知人でもないですよ。まあ、一回だけのミーティングみたいなものに参加して、そういうことを言っていた人がいた。いかにも、自分は何もできなかったということは思うんですけど。ただ、なんやろ。その会では、そのことを助長するようなことはしなかったつもりなんですけど、ま、うまく言えないですね。とりあえず、そういうことってそんなに、珍しくなくあります。特に日本は、自殺が少ない国ではないので、自分がどうするかっていうのは考えるに値するかなという感じはしました。なんか、話中途半端ですけど。どうでしょう。もう一回、最初の疑問を言うと、自分自身は喜助は間違ってたんじゃないかと思うと。で、周りの人が生きて欲しいと望むことは、僕はなんか欲望じゃなくって、なんかこう自分のためであってもいいんですけど、なんか単なる欲望とは違うような感じがしている、ということが言いたかっただけです。

J：何話したらいいですか。(中川：戻ってもらってもいいですよ) 先生が言っていた喜助は間違っていない

たいなかんじですか。なんか、いまいち、先生の話聞いてたら、よく分かんなくなってきた。先生が悪いとかじゃないんですけど、普通にほんとに分かんなくなっちゃったんですけど、先生が喋る前に話したのを、の話に戻るんですけど、死ぬって言われたほうが良いみたいな。知り合いとかに。で、なんかFさんが言ったのと近い話になると思うんですけど、なんか従兄弟の同級生の家族の話なんですけど。お母さんが自殺しちゃって、で自殺するってなったら、手の施しようがないくらい病んで、なんか他のことで追い込まれているのに、それに追い打ちをかけるみたいなかんじで、自分で自分を追い込むみたいなかんじになってたらしくて。だからもう、どうしようもなかったみたいな。でも、突然、死ぬなんて聞いてなかったから。家帰ったらもう、亡くなってたらしくて。それで、やっぱり家族はショックじゃないですか、普通。で、それからその、やっぱり心の準備ができてなかったから、その次の日、家族が起きたら兄弟二人だったらしいんですけど。お父さんがショックで死んでたらしくて、やっぱり言わないっていうのも、迷惑をかけたくないから言わないっていうのも、そういうわけではないと思って。言うのも迷惑かもしれないし、言わないのも迷惑かもしれないし、みたいな。心の準備、受け入れる心の準備を与えるっていうかたちなんだったら、なんか心の準備をしてもらうためにも言った方がいいし、言ったほうがいい、言われたほうがいいなって思いました。よくわかんないですけど。

K：先生の話聞いて考えてみたんですけど、確か先生が印象に残っている話、印象に残ってる人っていうのは、なんでしたっけ。自殺の意味が、他人に理解されなければ自殺してもいい。(中川：そうですね)ということは、その逆に考えてみたんですけど、だったら自殺の意味がなんなのかっていうのが、ちょっと今、疑問に思ってるんですけど、先生はどう思ってますか。

中川：その場合の？(K：はい) その場合はなんか表現むつかしくなりますけど、他人に理解されているっていうことは、わりと自分が生きていてもよいつていうこととつながるんじゃないかと思ってるわけですが、僕は。だから、そういう思い出し方をしたのかなっていう。だから、自殺の意味っていうのは、全く何にも理解されていない状態であれば、人が自殺を選ぶことがあるんじゃないかと、ってことです。

K：僕は、もしかしたら似てるのかもしれないけど。ちょっとした僕の考えで人が自殺するときっていうのは自分で自分自身を表現できなくなったら、自分自身が確立できなくなると、自分が何者か分からなくなると自殺するんじゃないかなって考えたりもしました。

L：僕はK君の意見に賛成で、人間はよく社会的な存在だつて言われるんですけど、その社会の一員となるっていうのが分からなくなったり、社会の一員ではないんじゃないかとか。必要とされてないんじゃないかっていう理由で、生きる必要とか意味をなくして、自殺するんだと思います。

M：僕も聞いた話なんですけど、人間って言うのは一番ストレスを感じるのは周りに認識がされてないっていうか、無視されてる状態が一番ストレスを感じるらしくて。今まで言ってくれてたみたいに、周りから認識

されてないってことは自分でも自分のことを分かってない状態っていうことだと思って、それならもういなくなっても良いんじゃないかって思ったときに、みんな自殺しようって思うんじゃないかなって思いました。

N：僕は考えたことは、知り合いに鬱病の人がいて。で、鬱病っていうのは、なんかあの、生きてる意味が分からなくなるみたいなの。とにかくなんか、死にたくなる病気みたいなのっていうのを聞いて、で、けっこう親しかったので、別にその人は生きてるんですけど、一回、死にたいみたいなこと言って。言ってたんですけど。僕は別にその時に止めもしなかったし、生きてる意味が分からなくて、それが苦しいんだったら、なんか喜ばないですけど。その苦しみから助けてあげるっていうのも、なんか大切な人を想う手段としては良いんじゃないかなって思いました。

O：私はみんなみたいに、なんか近くの人が自殺したって言ったりとか、自殺したりした経験がないから、いまいちよく分かんないんですけど、やっぱり自殺したって言われなくて、でそのまま自殺して、そしたら確かにFさんが言ってくれたみたいに自分を責めたりとかしちゃうかもしれないけど、もし私自殺するって言われたとしても、なんかそれで止めて、止めても。止めるようなことを言ったとしても、その人にとったら、自殺する側にとったら、もしかしたら自分のことを見てくれる人がいるんだって思うかもしれないけど、逆に自分が自殺したってことすら誰にも分かってもらえない、みたいな感じで、死んじゃったりしたら、自分の言葉が響かなかったんだなって思って、自分がつらくなったりしちゃうかもしれないから、分からないです。

P：私もFさんとかと同じで、友だちっていうか、半年か1年に一回会うか、会わないかぐらいの女の子がいて、高校生の。その、お母さんの会社の人の友だちの娘さんで。で、その人自殺して、去年か一昨年、去年か半年前ぐらいに自殺してしまって。自殺する前にその子のお母さんが、ちょっとずつ様子がおかしくなってるのに気づいていたらしいんですけど、聞いても何にも話してくれないってことで、会社から帰ってきたら自殺してしまってたらしくて、その子のお母さんは、なんか自殺するんだったら自分はおかしいなって気づいたから、あの時、なんでもっと強く聞かなかったんだろうとか、別にその子、いじめられてたとかっていうわけでもないから、なんで死んじゃったのか分かんないし、どうしたらいいかも分かんないって言って。なんか言わないで、知ってる人が死んじゃうっていうのは……。なんか。言われて、自分が何ができるか分からん、分かんないけど、でも、言われなくてそのままその存在がなくなっちゃうっていうのは、おっきいかなって思いました。

Q：今までの話を聞いて、もし何も言わないでその人が自殺しちゃったら、なんで言ってくれなかったのってすごい思うのかなって、思ったんですけど。でも、もし言っても、私はその人が自殺したら、たぶん自分のこともその人のことも、絶対に許せないと思うんですけど。もし言ってくれても、言ってくれてなくても自分で死を選ぶっていうのは、つまり他人に迷惑がかかることだと思うんで、もし言ってくれても、言ってくれてなくても、きっとそのことは自分も、自分のことも、その人のことも責める。きっと一生責めるんじゃない

いかなって思います。高瀬舟の話でも、弟は死ねて本望だったかもしれないけど、結局兄はその罪を、罪人になってしまったので、結局兄には迷惑がかかっているから、別に死にたいって言うてくれてても、きっとそれは迷惑がかからないってことにはならないと思うんで、言うてくれてても私は自殺は許せないかなって思います。

R：えっと、私が知人からもしその、死にたいって言われたら、何か決断をして、私に言うてくれたんですから、その人の意見を尊重したいんですけど、知人ってこともあるし、ま、勝手に死ねば良いとかそういう意見もあったけど、絶対私は止めるだろうなと思います。みんなの話を聞いてて、人が死を選ぶ理由はなんなのかなって考えていたときに、周りから、自分の存在を認められなくなった。ん、うん。ときになるんかなって思って、前の議論でAさんが、その寝たきりの方の家族がどんどんお見舞いに来なくなるっていう話をしてて、寝たきりでもお見舞いに家族が来てくれたら、生きようと思うと思うんですけど、周りからも見棄てられたっていうのはおかしいと思うんですけど、そしたら、生きる意味もなくなると思うし、自分が死んだ後、誰が悲しむやろうって考えて、その悲しむ人の姿を思い浮かべなかつたら死にたいって思うんじゃないかなって思います。

S：いまの話聞いてたら、死ぬことを人に言う場合と言わない場合っていうのと、死を選んだ人に対して、その人の意見をそのまま尊重する人と、止める人っていうのがいると思うんですけど、死ぬことを言わない人がけっこう、言う人の方が少ないと思って、で、なんか言わない人はたぶん、ほんとに深い傷を負っているとか、周りに心配されたくないとかだと思って。そう思った時に、言う人って、すごい勇気出して言ったんじゃないかなって思って、でもそんな言いたくて言ったとか、どうしようもないけど、最後にこの人に相談しようってたぶん思って、言ったと思って。しかもなんか、その死にたいって思うのは、自分の居場所がなくて、誰からも認めてもらってないっていう自覚がなくて、たぶんもう死ぬしかないって思ったからだと思うから、その、もし、それで、尊重するって、その人の意見を尊重するって言った人が悪いわけじゃないけど、尊重するって言ったら、死にたいって言った人からしたら、この人が最後の頼りとして、死ぬって言ったかもしれないのに、なんかそうやって言われたら、もしかしたら、悪く考えたら、死ぬことを悲しまれてないって思っちゃうかもしれないから、なんか私だったら止めると思いました。あと、なんかこの、もし今は死を相談された側で考えてるけど、死を相談した人はどういう気持ちで相談したかを考えたら、なんかもうちょっと、分かりやすくなるんじゃないかなって思ったから、自分がもし死を選んでも側で友だちに相談するときは、友だちっておかしい、知人に相談するときはどういう気持ちで、なんか相談するかっていうのを考えたらいいかなって思ったんですけど、なんか。

B：今、とりあえず一周回って、色んな人の話をなんとなく聞いてたんですけど、えっと、たぶん受け止めるって言った人は、っていうかたぶんまず、その死にますっていう報告をする場合は、その、言った相手っていうのは、絶対に自分の信頼してる人だったりとか、それこそお互いに大切に思い合ってる人だったりとかっていう風になると思うんですけど。その、死にますって言ったときの覚悟の前提として、誰にも分かってもらえないならば、死んでも良いんだろうって、さっき中川先生とか K とか言うてたけど、それでもし、良いよっ

て、それまでのこんなことがあって辛くてっていうのも分かってるような人に、言ってる場合であれば、それで、うん分かったって言われたら、それ認められることになっちゃうじゃないですか。そしたら、その人が死ぬ大前提となる理由はなくなって、希望が見えてくるはずじゃないですか。でも、下手をしたら、でも、その下手をしたら助長することにもなりかねないし、逆にそういう理由で、誰にも分かってもらえないからっていう理由で、やめろって言われたら、それこそ自分のこれまで考えてきたこととかを否定されているから、分かってもらえないんじゃないかって最後の希望も絶たれてっていうことになって、なんかそこにすごい矛盾を感じるなあと、思ったんですけど。その矛盾について、誰か説明できる人とか、いないかなと思ったんですけど。

中川：ごめん、もう一回、説明してくれへん。最後のほう、追いつけへんかった。もう一回。はい。(B：最後の方?) 一方で、分かってるって言われたら、その人が死にたいって理由がなくなっちゃうんですね。で、もう一つのほうは?

B：もう一つは、その色々やってることがあった上で、死にたいって理由も、ある程度分かっている状態で、それでも止めとけって言われたら、それこそ本当に理解されていない。(中川：あー、なるほど、そういうことか)。分かってもらえないってことになってしまうから、最終的な希望も絶たれてしまっっていうなんか、変だなあっていうことだったんで。(中川：なるほどね)

D：私もずっとBさんと同じ矛盾を、聞いてて感じて。んでまあ、ちょっと、これが答えになってるか分からないんですけど、たぶん、死ぬ理由ってというのが、周りから認められてないってことだけが理由じゃないからだと思って。なんか、そのたぶん、なんか分かんないけど、その友人ってというのが、しゃべれる人ってというのが、いるっていう時点で、別に自分が誰からも認められてない、存在を認められてないっていう、理解されないってことではなくなる、から。だから、たぶん、その自殺する人ってというのは、周りが見えなくなってる、から。その、おったとして、ほんまにそばに、理解してくれる人がおっても、それを忘れるじゃないけど、その自分の(聞き取れない)じゃないけど、早とちりをして、私は誰からも理解されないって、信じ込んじゃって、勘違いして、それで、それで自殺して、その後、頼ってくれたら良かったのにつて、そのまあ、友人である人が思うってというのが、なんか今まで体験、聞いた話みたいな(聞き取れない)かなって思いました。

中川：色々考えてたんですけど。えーっと、えっとですね。Bさんの矛盾は、実は矛盾ではないのかもしれないって思ったんです。それは、さきほどちょっと、カメラで撮る理由の話をしましたよね。人は実は身体で喋るし、顔で喋るし、もっと言うと、この辺で喋るんです。分かります?分かんないですか。つまり、人は口で喋っているように錯覚するんですけど、あるいはもっと言うと、逆も然りですね。聴くほうもそうです。人は身体で聴くし、目で聴くし、あるいは、もっと言うと、うなじで聴いたりするかもしれないですね。そういう経験ありませんか。背中で話してっていうことありますよね。身体ってというのは、そんなに単純ではないので、僕が言いたいのは、それは遂行的に聴くっていうことがありうると思うんですね。遂行的、行っって意味

なんです、ということで、Bさんの矛盾は遂行的なものを重く見ない人、つまり、だから、えーっと、なんて言ったらいいんでしょう。死にたいんだって言ったときに、それを「ああそうか」って、言う人って実は聴いてるんですよね。たぶん。だから、その瞬間に聴かれたって思って、「ああ、オレ死ななくていいんだ」って思える。これはもう、ものすごい、なんて言うんですかね。すごい高いレベルの聴くっていう行為ですよね。たぶん。それに対して、反対なのは、聴いてるフリをして、「ああ死にたいんだね、理由は分かるよ、でもやめとけ」って言われたら。こいつ、ほんとに聴いてんのかなって思いますよね。で、これがたぶん、聴くことの困難さを表してると思うんですが。一見、矛盾のように見えて、あまり矛盾はしていなくて、で、本当に聴くっていうことは、たぶん、その耳で聴くだけの話ではない。なんか、その昔、だいぶん前になりますけど。アウシュビッツの話をしたときに、なんかどっかのクラスでなんかあの、単純に聴くっていうこと。つまり、辛いと思っている人に対して「ああ分かるよ、分かるよ」って言うことは、その人を傷つけることにもなるっていう話が出たような気がしていて、それに近いですね。だから、実際は、あ、だからオレ自分で、自分のことを……間違ってるかも分かんないんですけど。喜助が間違ってるかどうかって話をしたときに、いやあ、でもそれは矛盾じゃないのか。えっと、Cが言ったことをずっと考えているんですけど、それは欲望であるから、つまり弟が死のうとしてしていることを、止める。いや、違うわ。弟が死のうとしてしているから殺すことが、実は弟のことを聴いたことになるのかもしれない。という可能性が残されるわけですよね。たぶん。んー、わかんないです、すみません、どう思いますか。あるいは、まあまあ、そんなことを考えてました。意味分かりましたか。あ、分かってない人もいますね。いや、えっと、さっきの僕の話を経験すると、身体で聴くっていうことがあり得るとしたら、弟の訴えを聴くということが、殺すということである可能性があるっていうことです。で、それがまた、道徳に反する場合もあるっていうことです。人を殺してはならないっていうことに反するんですけど、でもそれは実は、弟のことを本当に聴いていたからだという結論はあり得ますよね。だから、やっぱり喜助はすごかった。どっちでしょう、分かんなくなってきた。じゃあ、いっぺん戻してみましようか。

A：先生が言って、あんま、いまとっさに言われて、あんまりちょっと分かんないんですけど。去年、先生が言ってた、他人の話を聞いて、あ、うんうんみたいな。分かるよみたいなことを言うのが、逆に傷つくってのが、私も覚えてて、でさっきBさんの話とか聴いている時に、その、他人にうんうんって言われても。自殺をするっていうことを、言ったとして、それで、その辛かったねって言われるのと、やめときなって言うの、どっちを言われても結局、自殺をしてしまうっていうのもけっこうあると思って、それが先生が言った、辛かったねっていう、聴くほうの能力がかなり高くないと無理みたいなことを言って。うーん、どっちがいいっていうか、どっちが正解か分からないなっていうこととか。えー、ちょっとだいぶん話が小さくなるけど、たとえば自分が転んだとして、お母さんはいつも私のことを笑うんですけど。ちょっと話がちっさすぎるんですけど、笑われてけっこう傷つくんですよ。こっちはけっこう痛いのに、笑われてバカにされてるみたい。しかも、痛みを分かかってもらってないみたいなかんじで、けっこうすごい傷つくんですよ。でも、お母さんにそれ言ったら、なんか、大丈夫って心配されるより、笑われたほうが楽でしょみたいなことを言われて、ちょっと話がちっさすぎるんですけど、それと似たものを感じたじゃないけど。確かに、お母さんにマジで真剣な顔で大丈夫って心配されても逆に傷つくかなって思うんですけど、とかをちょっと考えてました。